

1 つくばね学について

《概要》

筑波山麓にある学校周辺の公共施設、福祉施設、小学校などでの様々な体験活動を通じて、多様な立場の人や異世代の人とふれあうことにより、自己を見つめ直し、人との心のつながりや社会とのつながりの大切さを理解する。また、社会人としての責任を体感することにより、社会規範意識を身につけ、思いやりの心を育むとともに、自尊感情のある自立した人間へと成長する。

《目標》

地域との連携を重視した様々な形態の学習活動を通して、他者との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重する態度を養う。また、社会に積極的に寄与する能力を育成するとともに、持続可能な社会が実現できるような価値観と態度を養う。

《具体的なねらい》

1	体験的な学習活動をととして、学ぶことの楽しさや意義を理解する。
2	地域の施設や人材を活用することにより、郷土や伝統文化に対する理解を深める。
3	校外の幅広い年齢層の方々との交流、異学年での交流活動、発表会や報告会を行うことにより、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
4	人間関係を築く力、社会に参画し寄与する態度、規範意識や公共心の育成を図る。
5	自己の生き方・在り方を考え、職業観・勤労観を育むことで、自尊感情のある自立した個人の確立を目指す。
6	「持続発展教育（ESD）」を視野に、単なる地域貢献活動にとどまらず、持続可能な社会の担い手としての意識を育成する。

《具体的な活動》

【つくばね学】2年次：総合的な学習の時間2単位で全員受講

2年次の4月から7月までは、「つくば市のまちづくり」「つくば市の文化」「つくば市の歴史について」「社会人としてのマナー」等の授業を校外から講師を招いて行い、郷土つくば市についての理解を深める。さらに、2回の定期考査で知識・理解についての評価を行う。7・8月で実習先を決定し、9月からそれぞれの施設での実習を行う。各施設の担当者は観点別に3段階の評価を行い、実習期間中は教員が担当する施設を訪問し、担当者と生徒の活動状況についての情報交換を行う。

【つくばね学探求】3年次：B類型の生徒のみ学校設定教科として2単位受講

3年次生は、4月から7月まで2年次と同じ活動場所での実習を行う。8月に2年生に活動を引き継ぎ、実習を終了する。9月以降は校内で活動のまとめ、ふりかえりを行い、12月に地域に向けて活動のまとめのプレゼンテーション発表を行う。評価はまとめの作業およびプレゼンテーションについて行う。

《受け入れ施設》

*別紙参照（つくばね学実習先一覧）